

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M313I102	医療マネジメント論 (Healthcare Management)	融合人材育成科目 医療マネジメント 科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1	後期	木曜・3限	大崎 美泉 内線： 7572 E-mail : yosaki@oita-u. ac. jp

【授業の概要・到達目標】

近年、経済学の観点から医療を考察する医療経済学とは異なって、経営学の観点から医療を考える医療経営学が注目を集めている。本講義は、医療のマクロ的側面をマネジメントの視点から考察するが、単に効率性の観点から医療の仕組みや医療制度改革を論じるだけでなく、その社会的責任についても併せて考えていく。これらを理解することで病院を取り巻く医療環境の現状や問題点について説明できる能力を修得する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 医療科学と融合領域に関する広範な知識を身につけることができる。	○					
2. 習得した幅広い知識を現実の問題解決に活用することができる。			○	○		
3. 他コースの学生と協働して学ぶことができる。		○				
4. 社会の変化によって生ずる医療科学の展開をフォローすることができる。			○			○

【授業の内容】

1	イントロダクション：医療マネジメント論と病院マネジメント論
2	医療経営の特徴
3	医療経済学の視点から
4	医療政策の視点から
5	医療における経済学と経営学
6	わが国の医療システム
7	医療制度と医療経営
8	諸外国の医療システム
9	診療報酬支払制度
10	医療制度改革（その必要性と影響）
11	医療制度改革（DPCの導入）
12	医療経営を取り巻く環境の変化
13	医療の質保障とリスクマネジメント（災害対策と事業継続）
14	日本の医療の論点
15	総括：病院マネジメント論への展望

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	課題レポート
B：意見の表現・交換	○	小レポートとそのレビュー
C：応用志向	○	病院マネジメントへの展開
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	講義の予習（30h）。
事後学修	復習・実践例の調査（30h）。

【教科書】 特に、指定しない。

【参考書】・今村知明・康永秀生・井出博生『医療経営学（第2版）—病院倒産時代を生き抜く知恵と戦略』（医学書院 2011年）
・真野俊樹『はじめての医療経営論』（有斐閣 2020年）

【成績評価方法及び評価の割合】					
評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
小レポート・課題レポート	50%	○	○		○
試験	50%	○			
【注意事項】					
【備考】					
教員の実務経験の有無	○				
教員の実務経験	令和5年6月まで5年間、大分銀行社外取締役の任にあった。				
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×				
教員以外の指導に関わる実務経験者					
実務経験をいかした教育内容	実際の企業経営や経営戦略について、紹介する。				
授業形態	対面				